

平成29年度予算公表

子育て応援のまちづくりと 発酵の里づくりを進めるために

一般会計24億7,200万円の予算を編成

歳入

平成29年度当初予算が3月定例議会で可決されました。

一般会計の予算総額は24億7,200万円で、前年度に対して1億200万円、4.0%の減額となりました。また、特別会計の予算総額は、3会計合わせて15億1,440万円で、前年度に対して90万円、0.1%の減額となりました。なお、公営企業の水道事業会計については下記のとおりです。

平成29年度も地方交付税の減少など厳しい財政状況が見込まれますが、そのような中においても「子育て支援」「まちの活性化」などに重点配分し、学校給食費の全額助成、高校生の医療費助成、道の駅拡張に伴う既存施設の改造などの予算を計上しました。ここでは、新年度の予算と主要事業についてお知らせします。

歳入の主なものとしては、町税が6億5,236万1千円で、固定資産税・軽自動車税などの増収を見込み、前年度に比べ2.5%、1,590万円の増となりました。

地方交付税は国から示された地方財政計画をもとに、3.2%、3,000万円減の8億9,400万円を見込みました。町税と

地方交付税で歳入総額の6割以上を占めています。

国県支出金は3億5,207万円で、道路整備などの補助事業の減少に伴い前年度に比べ11.7%の減となりました。

繰入金のうち財政調整基金からの繰入れは、財源対策として4.9%減の1億848万5千円を計上しました。一方、町債（借入金）は18%減の9,120万円にとどめています。

歳出

新年度の主要事業は、町道成田神崎線整備事業、町道神宿松崎線測量調査設計事業、道の駅旧新鮮市場棟改造等事業などで、投資的経費は総額で約2億1,300万円を計上しました。

子育て支援に関しては、小中学生の給食費を半額助成から全額助成に拡充します。また、子どもの医療費助成については、対象者を中学生から高校生までに引き上げます。なお、保育所児童の給食費相当額の助成、保育料3人目無料化、子育て支援費給付金などは継続して実施します。

その他の新規・重点事業については、次ページの主な事業一覧のとおりです。町債の借入残高は平成29年度末で約22億8,600万円となる見込みで、町民一人あたりにすると約37万円となります。



建設中の新しい新鮮市場

水道事業会計

(%は対前年度比)

収益的	収入	2億1,514万7千円	▲3.0%
	支出	2億 637万6千円	▲2.0%
資本的	収入	1万1千円	0.0%
	支出	4,490万2千円	▲2.8%

特別会計

(%は前年度比)

国民健康保険	9億3,100万円	▲2.2%
後期高齢者医療	7,080万円	2.3%
介護保険	5億1,260万円	3.7%
合計	15億1,440万円	▲0.1%